

平成29年度普及活動外部評価会  
普及事業の評価結果及び改善方向に関する助言・提言  
(全体をとおして)

1 普及指導活動の体制（課内の分担・活動の進ちょく管理・普及指導員の資質向上の取組）

- 普及員は異動があり、農家と新しい担当と連携できてないことがあるが、引き継ぎがうまくできているか。
- 人員配置は人口割りで決めているのか？ 県内の普及指導員数が144名では少ない。もっと普及指導員を増やしてもよいのでは？ 体制面で充実できないか？ この会でまとめて提案して変われば良いが。

2 普及指導活動の計画（普及課題の設定・対象の設定・関係機関との連携・目標設定）

- 目標設定があいまいな課題は、評価しにくい。  
(対象全体の人数がわからない。対象者数が1名など)

3 普及指導活動の成果（活動の経過・実績・成果・結果の周知）

- 普及員の支えによって、様々な技術が導入されるなど農家の意識が向上していく状況が良くわかった。
- こうした評価会を地元で実施するなど、地元の人にも普及活動を共有すれば良い。

4 外部評価会に対する意見

- 発表内容が明確で、表・グラフもわかりやすかった。
- とてもわかりやすいプレゼンテーションであった。
- 現地調査をしたことで、より普及の苦勞がよくわかった。現地調査は良かった。
- 昨年度の外部評価で、普及活動を効率的に進めるためICT技術を活用することを提言した。今年度には、活用状況の報告があり、また、外部評価委員の民間企業分野として専門家が入るなど意見が取り入れられていた。

5 その他

- ICT活用され始めているが、より効果的、効率的な活用方法の検討が必要。